

# 過疎地域の公共交通機関の在り方

仙台三高 探究62班

## テーマ設定の理由

現在、日本では地域の過疎化が進んでおり、それは宮城県も例外でなく、地域の交通サービスにも多くの影響が出ていて、公共交通機関は存続が危ぶまれている。そのような状況を打破したくこのテーマを設定するに至った。

## 調査方法

- ・インターネット
- ・新聞
- ・県北方面の現地調査
- ・交通関連の企業へのインタビュー
- ・利用者へのインタビュー

## 調査地域の選択と車への依存率

市町村	乗用車	世帯数	乗/世
仙台市	385912	530185	0.7278817771
多賀城市	20934	27690	0.7560130011
名取市	28991	32520	0.8914821648
石巻市	55402	61964	0.8940997999
大崎市	47651	52458	0.9083647871

人口が多い自治体の中で移動を車に頼っている割合が非常に高い

線名	区間	営業係数 <sup>※</sup>
陸羽東線	古川～鳴子温泉	1,520
	鳴子温泉～最上	20,031
	最上～新庄	3,078

※営業係数:100円を稼ぐためにかかる費用

大赤字

## 調査する市町村

### 大崎市を調査

上の表から、街の中心に在来線があるのにも関わらず車の依存率が高く、市内を東西に通る陸羽東線が赤字路線であることから。



## 菊池英文さんの話

- ・鳴子温泉は他の温泉地と異なり、鉄道の沿線にある→アドバンテージ
- ・二次交通が発展できていない
- ・自動車の普及により鉄道を利用する観光客が減少。

菊池英文さん  
鳴子温泉郷総合  
観光案内所運営  
協議会事務局長

## 新井准教授の話

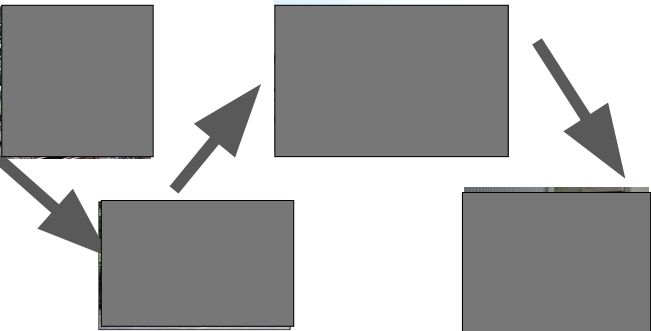
- ・陸羽東線は利用者が減り続けており、県や自治体は存続に前向きではない→廃線に向かう可能性が高い
- ・公共交通機関が完全に無くなると、地元の人々の生活が壊れてしまうので、鉄道ではない、バスやタクシーに移行すべき

近畿大学  
新井圭太准教授

## 対策案

### ①ダウンサイジング

コスト削減や効率化を目的とし、規模を縮小し、運営。



### ②ライドシェア

京都府京丹後市で推進されている自家用有償運送。最近、日本国内でも導入が検討されてきているが、現状、国内では「白タク行為」が見られていることもあり、中々導入までには至っていない

### ③サイクルトレイン

自転車を分解せずに電車内に持ち込むことが出来るサービス。→レジャー客の呼び込み、二次交通の問題の解決に貢献する。

## 今後の展開

- ・以上の3つの対策案のうち、大崎市に導入した際のメリット、デメリットを考え、一番フィットする案を考察する。
- ・考えた案を大崎市の専用フォームに入力し、提案する。
- ・大崎市の動向を注視し、陸羽東線の今後を見守りたい。

## 参考文献

- ・JR東日本 線別収支
- ・世帯数（日本人住民＋外国人住民）

- ・2022年4月調査 市町村別 人口
- ・国土交通省 東北運輸局